

少年男子ダブルスカル 5～8 位決定戦

順位	所属	メンバー	記録	備考
5	岡山(岡山選抜)	田川 入澤	3分21秒77	
6	鳥取(鳥取県選抜)	大畑 竹山	3分22秒11	
7	千葉(千葉県選抜)	松浦 高岡	3分23秒58	
8	愛媛(愛媛選抜)	吉田 美藤	3分24秒62	

3年の入澤です。

自分にとって最後のレース、結果としては1位で通過することができ全体の5位入賞という結果になりました！応援してくださった方々、森川先生、たつきさん、そして4月からずっとダブルを組んでくれていた田川、本当にありがとうございました！！自分としては悔いのないレースが出来たと思います！最後のレース笑って終わることが出来て良かったです！

2年の田川です。

今回自分達ダブルは、5位でしたが、後悔のないレースがほんとにできました。ありがとうございました。そして入澤さん、OBの皆さん、先生、たつきさんいろんな人の支え、応援があつてここまで来れました。本当にありがとうございます。これからは自分のチームになるので頑張っていきます。



少年男子舵手つきクォドルプル 決勝

順位	所属	メンバー	記録	備考
1	福井(福井選抜)	赤尾 岸本 柴崎 志賀 岡本	3分7秒85	
2	愛媛(愛媛選抜)	青野 赤松 川上 尾崎 廣瀬	3分9秒32	
3	岡山(岡山選抜)	八重樫 宮内 長崎 石井(大) 石井(敦)	3分12秒16	
4	長野(長野選抜)	藤森 山崎 細川 長崎 植松	3分15秒34	

3年の石井勇氣です。

結果は3位でした。最後まで熱い応援本当にありがとうございました。背中を押してくれました！内容はというと、0-500を死ぬ気でとるといことができ、やりたいことはできたと思います。なので悔しい気持ちもありますが、やり切った！という気持ちのほうが大きいです。でも先生のラストチルドレンとして本当の先生の最後の花道を飾らなかったのは本当にすみませんでした。

この国体期間で先生の偉大さをひしひしと感じました。例えば先生は会場でどんなハプニングがあっても笑顔で僕たちを安心させてくれました。先生は本当に森川大明神様です!!

このレースをもって高校ボートは終了しました。昨日書いたように思い出すと楽しい思い出しかできません。これも本当に、本当に支えてくれた方々のおかげです。感謝の気持ちしかないです。少しは感動という形で恩返しできていたら幸いです。よってTEAMアツキも終了です。次のTEAM田川!! 頼んだぞ!

3年の八重樫です。

まずは、応援波動ありがとうございました！結果から言うと、ダブルスカルで第5位、舵手付きクォドルプルで第3位。狙っていた天辺は取れなかったんですけど悔いのない、やり切った第3位だと思ってます！3年生はラストレースで色んな想いがあった大会だと思います。この結果踏まえて後輩達が必ず引き継いでくれるはずです。そう信じてこの結果に胸を張って岡山に帰ります！

そして、この結果があるのは森川先生を始めとする方々、敏腕コーチのたつきさん、両親上げればキリがないほど色んな人に感謝をしたいです。自分の中では感動で返せたんじゃないかなと思います！

3年の宮内です。

自分たち3年生は高校生活最後のレース、後悔のない関西らしいレースが出来たと思います。現地まで応援しにきてくださった、保護者の皆さん、OBの皆さん、ありがとうございました。そして岡山から栃木まで運転してくださった森川先生本当にありがとうございました。

今まで生きてきた中で一番内容の濃い一年になりました。この環境このチームで本当に良かったと思います。

2年の石井大和です！

いつもの関西の漕ぎが出来て悔いの残らないレースをする事ができました。そして先輩たちと出る最後の大会となり色んな気持ちが込み上げてきました。この国体全てのレースが本当に楽しくてもう一緒に乗れないと思うと寂しいです。先輩たちに教わった事を受け継いでいきます！

4月から一緒に乗ってくれた先輩方、サポートして下さった竜己さん、そして長い間運転して下さった森川先生本当にありがとうございました！

これからチーム田川が始まります！次は新人戦に向けて頑張ります！

三年の長崎富生です。

今日高校生活最後のレースをしてきました。

後悔のない関西しかできないレースができたと思います。ありがとうございました。応援してくれていた、OBの皆さん、現役保護者ありがとうございました。

長い時間運転して下さった森川先生ありがとうございました。今まで生きてきた中で一番楽しく内容の濃い3年間でした。本当に関西高校ボート部に入ってよかったと思います。



郷土勢の天皇杯順位

(4日現在)

岡山 21位(653.5点)
広島 43位(492点)

国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」第4日は4日、栃木県栃木市の谷中湖特設コースなどで行われ、岡山勢は関西高で固めたボート少年男子のかじ付き4人スカルで3位表彰台に立ち、ダブルスカルで5位に入った。レスリンググレコローマンスタイルで成年男子87kg級の目黒優太(国士館大)



第4日

と少年男子55kg級の国年世羅(高松農高)、卓球少年女子が5位入賞した。このほか、テニス少年男子は1998年神奈川国体以来となる決勝に進出。レスリンググレコローマンスタイル成年男子は67kg級の北條良真(自衛隊)、72kg級の中田翔輝(日体大)が4強入りを決めた。(記録は3日分を含む)

岡山 ボート少年男子 完全燃焼3位

かじ付き4人スカル

高校最後の舞台で完全燃焼した。ボート少年男子かじ付き4人スカルの関西高は今夏のインターハイに続く日本一こそならなかったものの、堂々の3位。クルーたちは「関西らしいレースができた」と持てる力を出し切った。

4艇による決勝(1000m)は出だしからスムーズに加速し、終盤まで栄冠を争った。ともに高校日本代表を擁し、複数校の選抜を組んだ強敵の福井、愛媛と中間点は横一線。コックス八重樫は「抜け出すことはできなかったけど、狙い通りのいいスタートが切れた」と振り返った。

森川監督から勝負に臨む姿勢の甘さを指摘されたのは、福井にとりまして大きな1日の予選後だ。「勝ったわけでもないのに、次に進んでどこか満足してしまっていた」と主将の石井敦、選手同士のミーティングで再度引き締めを図り、準決勝、決勝は後悔のないレースを演じた。

4人の3年生がさすがらしい表情を浮かべる中、2年生石井大はただ一人こみ上げるものを抑えきれなかった。「先輩たちとのレースはこれで最後かと思う。受け取ったバトンを止めないよう頑張る」。伝統校の頂への挑戦が、ここからまた始まる。

(松原悠)

好スタート 終盤まで栄冠争う



ボート少年男子かじ付き4人スカルで3位に入った(左から)石井敦貴、石井大和、長崎富生、宮内陽色、八重樫弦=谷中湖特設コース(中西弘之撮影)

ボート
 ①栃木市谷中湖特設コース
 ②成男子かじ付き4人スカル決勝
 ③滋賀(東レ滋賀)村上 志貴、福田 江廣、江本 3分7秒80
 ④同ダブルスカル決勝
 ⑤同ダブルスカル決勝
 ⑥同ダブルスカル決勝
 ⑦同ダブルスカル決勝
 ⑧同ダブルスカル決勝
 ⑨同ダブルスカル決勝
 ⑩同ダブルスカル決勝
 ⑪同ダブルスカル決勝
 ⑫同ダブルスカル決勝
 ⑬同ダブルスカル決勝
 ⑭同ダブルスカル決勝
 ⑮同ダブルスカル決勝
 ⑯同ダブルスカル決勝
 ⑰同ダブルスカル決勝
 ⑱同ダブルスカル決勝
 ⑲同ダブルスカル決勝
 ⑳同ダブルスカル決勝

秋田 秋田選抜 五十嵐、茂山 3分39秒95
 ①同ダブルスカル決勝
 ②同ダブルスカル決勝
 ③同ダブルスカル決勝
 ④同ダブルスカル決勝
 ⑤同ダブルスカル決勝
 ⑥同ダブルスカル決勝
 ⑦同ダブルスカル決勝
 ⑧同ダブルスカル決勝
 ⑨同ダブルスカル決勝
 ⑩同ダブルスカル決勝
 ⑪同ダブルスカル決勝
 ⑫同ダブルスカル決勝
 ⑬同ダブルスカル決勝
 ⑭同ダブルスカル決勝
 ⑮同ダブルスカル決勝
 ⑯同ダブルスカル決勝
 ⑰同ダブルスカル決勝
 ⑱同ダブルスカル決勝
 ⑲同ダブルスカル決勝
 ⑳同ダブルスカル決勝

山形 山形選抜 3分22秒16
 ①同ダブルスカル決勝
 ②同ダブルスカル決勝
 ③同ダブルスカル決勝
 ④同ダブルスカル決勝
 ⑤同ダブルスカル決勝
 ⑥同ダブルスカル決勝
 ⑦同ダブルスカル決勝
 ⑧同ダブルスカル決勝
 ⑨同ダブルスカル決勝
 ⑩同ダブルスカル決勝
 ⑪同ダブルスカル決勝
 ⑫同ダブルスカル決勝
 ⑬同ダブルスカル決勝
 ⑭同ダブルスカル決勝
 ⑮同ダブルスカル決勝
 ⑯同ダブルスカル決勝
 ⑰同ダブルスカル決勝
 ⑱同ダブルスカル決勝
 ⑲同ダブルスカル決勝
 ⑳同ダブルスカル決勝

山形 山形選抜 3分18秒64
 ①同ダブルスカル決勝
 ②同ダブルスカル決勝
 ③同ダブルスカル決勝
 ④同ダブルスカル決勝
 ⑤同ダブルスカル決勝
 ⑥同ダブルスカル決勝
 ⑦同ダブルスカル決勝
 ⑧同ダブルスカル決勝
 ⑨同ダブルスカル決勝
 ⑩同ダブルスカル決勝
 ⑪同ダブルスカル決勝
 ⑫同ダブルスカル決勝
 ⑬同ダブルスカル決勝
 ⑭同ダブルスカル決勝
 ⑮同ダブルスカル決勝
 ⑯同ダブルスカル決勝
 ⑰同ダブルスカル決勝
 ⑱同ダブルスカル決勝
 ⑲同ダブルスカル決勝
 ⑳同ダブルスカル決勝

山形 山形選抜 3分18秒64
 ①同ダブルスカル決勝
 ②同ダブルスカル決勝
 ③同ダブルスカル決勝
 ④同ダブルスカル決勝
 ⑤同ダブルスカル決勝
 ⑥同ダブルスカル決勝
 ⑦同ダブルスカル決勝
 ⑧同ダブルスカル決勝
 ⑨同ダブルスカル決勝
 ⑩同ダブルスカル決勝
 ⑪同ダブルスカル決勝
 ⑫同ダブルスカル決勝
 ⑬同ダブルスカル決勝
 ⑭同ダブルスカル決勝
 ⑮同ダブルスカル決勝
 ⑯同ダブルスカル決勝
 ⑰同ダブルスカル決勝
 ⑱同ダブルスカル決勝
 ⑲同ダブルスカル決勝
 ⑳同ダブルスカル決勝

たつ補二すだ格 た退しバで大を田持へ 頭抜50

ボート少年男子ダブルスカル スカルの入沢、田川の3、2年生ペアは5位入賞。5〜8位決定戦を序盤で抜け出すと、最後まで「先頭」を譲らなかった。

前日に目標だった決勝への道が断たれたが、気持ちちは切らさなかった。田川が「練習通りのこぎを意識した」という腕を大きく使ったローイングで、300m付近でライバルに先行。後半もスピードを維持し、鳥取の猛追を0秒34差で振り切った。

学年を越えて今春に本格結成したコンビは課題だった終盤の失速を解消するため、地道なトレーニングに加え、積極的に補食を取り入れるなど体づくりから見直してきた。その成果を発揮し、「こ

れまでなら追い付かれてもおかしくないところでも、もう一度突き放す強さがあった」と関西高の



ボート少年男子ダブルスカルで5位でゴールし、拳を合わせる入沢撞野(左)と田川大智

少年男子ダブルスカル 岡山会心5位

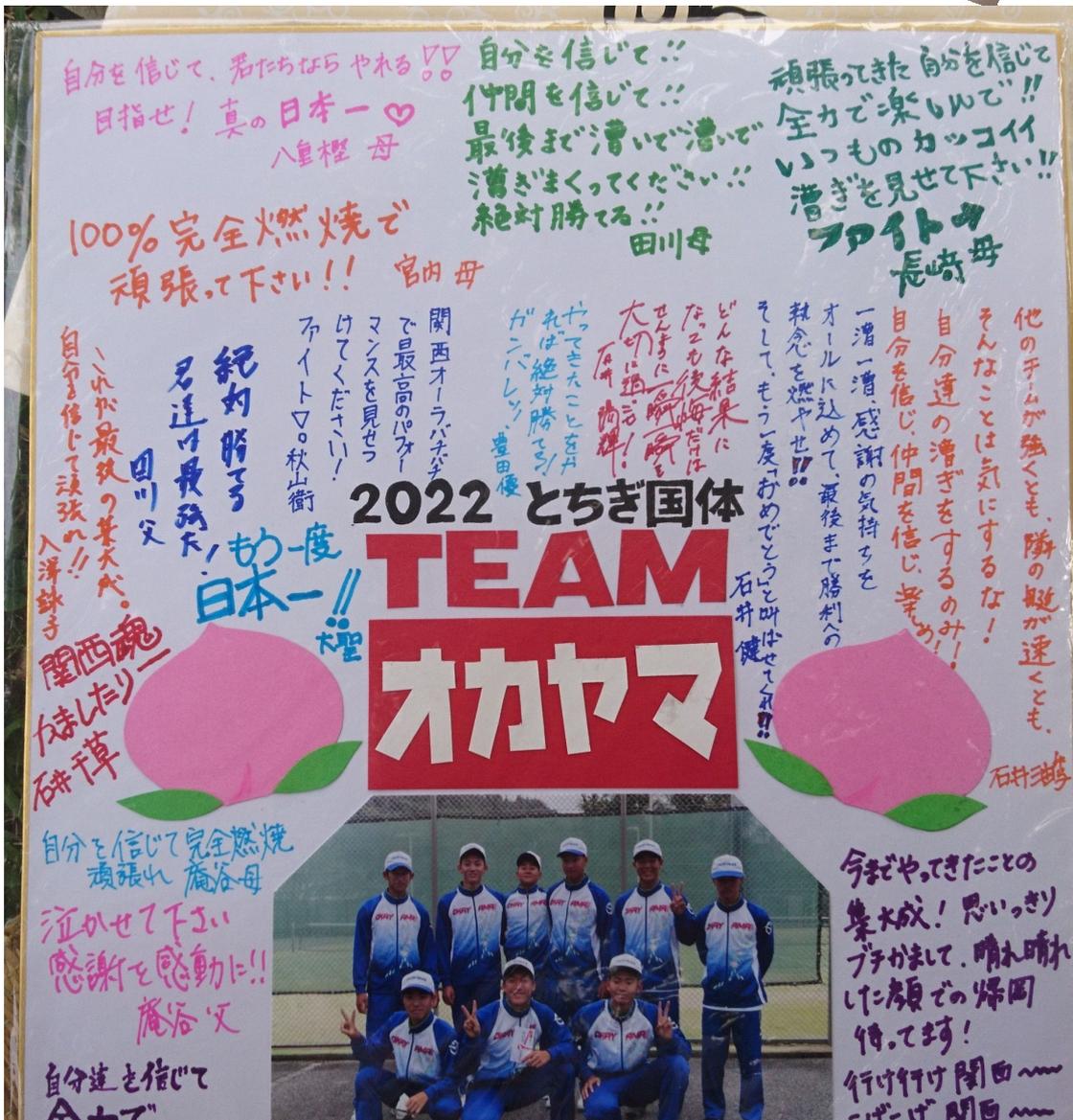
地道な練習 課題を克服

福田コーチはたたえた。順位は今夏のインターハイと同じでも「あの時は悔しい5位。手応えも受け止めも全然違っ」。競技は高校までと決めている入沢は、会心の内容でラストレースを飾った。(松原悠)

タツキ刑事物語

福田君は国体でゴソゴソとナンゾやらかす連中の風紀委員みたいな行動をとっていたらしい。主に食べたらオエン食材の取り締まりの様だ。『寝る前にサラダチキンを食べた犯人は誰なのか?!』『お菓子やジュースを買わないように、見つけたら速攻逮捕(坊主)です。』

結局犯人がどうなったのか結末も無いまま物語は終わっていた。



石井敦貴 父

まずは、関西ボート部関係者の皆様、たくさんの応援波動ありがとうございました。
そして、栃木国体に出場した9名のクルー達、本当にお疲れ様でした!! 皆が持てる力を出し切った!と清々しい顔で報告してくれたことが何より嬉しく、誇らしい気持ちでいっぱいです。本当によくやりました!!

シングルスカル庵谷くんは予選で4位、しかし敗者復活戦では1位通過!かっこよかったぞ!! そして、準決勝では4位でベスト16という結果となりました。しかし、国体という大舞台で庵谷くんらしい、粘り強く最後まで諦めない食らいつくローイングは鳥肌が立ちました。ただ、レースが終わると、つい入部前のあの姿を思い出し思わず…本当によく成長したよくやった!この経験を力に変えてさらに進化してくれると期待しています。
ダブルスカル入澤くん、田川くんペアは予選で4位でしたが、敗者復活戦では、後半に彼らの進化を見ました。グングンスピードがあがり1位通過!! そして、準決勝でも後半からスピードを上げくらいついていきました。2位で順位決定戦となりましたが、あのスピードは感動しました。そして順位決定戦でも最後までスピードにこだわる漕ぎを見せてくれ1番を見せてくれました!結果は5位でしたが大舞台でよくやった!さすが朝日レガッタチャンピオン!意地を見せました。

そして、クオドルプル 予選では、よそ見をしたせい?かどうかは知りませんが2位で通過。次は1位通過しなければ決勝に行けない…正直不安ではありました。しかし、準決勝レースではいつも通りの5人の力の集合体から出るスピードが見れ、いちばんが見れた瞬間はインターハイ優勝と同じような感動を保護者皆で味わわせられました。

そして、決勝。。。実は保護者応援団でレース前毎日やっていたことがあります。それは必勝祈願で訪れた安仁神社の宮司様から「江戸を守るための鬼門に祀られた日光東照宮に向かって拝んでください。」と教えていただきました。

他の目も気にもせず、保護者全員で一列に並び鬼門に向かって祈願。そして、attention go!もうこれがラスト…我慢しきれず関西コールの掛け声を私がかけました。そして皆で一体となり声援を送りました!! 目の前で見たマスカット色のローズを着た関西は、まさに泥臭く力強い関西ローイング。目に焼き付けました。

結果は3位。よく頑張った!と皆で拍手しました。感動しているところ…岡山から来られた報道関係者の方からインタビューを受けましたがはっきり言ってそれどころでなく、何を言ったか覚えてません。

ただ心から、よくやってくれました。3年間、泣いたり笑ったり、一緒に青春を味わってくれた息子達に感謝しかありません。そんなコメントをしたと思います。

この1年間、息子の父ではなく、チーム全体のことを考え厳しく息子を指導してきました。でも最後に言わせてください。

敦貴、よく頑張った。伝統ある関西高校で厳しさに耐え、有言実行で日本一を掴み、自分なりにチームをまとめ成長しました。それは全てチーム皆のおかげです。チームアツキのみなさん、石井敦貴を主将としてみんなで支えてくれてありがとう。本当に本当にありがとう。

石井アツキ母

三年生にとっては最後のレース、子どもたちの掲示板の思いを読むとチームアツキでの仲間との最後のレースを思いっきりやり切ることができたんだなあとなり、本当によかったと思います。今回の国体は素晴らしい思い出となりました。特に日光東照宮で子どもたちに偶然にも会えたことは本当に嬉しかったです。そして、最後の決勝戦で関西コールが出来たこと、みんなで声が枯れるまで叫んだあの瞬間を一生忘れません。

田川大智父

クルーの皆さん本当にお疲れ様でした。

現地保護者も本当に声が枯れるまで精一杯叫びました。そして涙しました。もちろん感動の涙です。レース後、結果はどうであれ皆さんの堂々とした顔を見て本当にやりきったんだな…となんだか誇らしく、とても嬉しく思いました。

ここで3年生は引退となるわけですが、ここまで来れたのも、森川先生、福田コーチ、保護者、そして栃木に来られなかったチームメイト、色々な方々の支えで今を迎えられたことを忘れないでください。

そして君たちのアツい魂を後輩にしっかりとつないであげてください。

チーム田川はその魂をしっかりと受取り成長していってくれるはずだと信じています。

最後になりますが本当に感動をありがとうございました。3年間本当にお疲れ様でした。

待～て～ど暮らせど～来ぬ保護者の投稿～♪

どうやら三名様のみのご様子なので今はこれまで!!残念!!

保護者会長ご夫妻と新保護者会長のコメントでした。そして、最後は大明神です。

森川先生のお言葉

「踊る大捜査線 7日目」が終わって既に2週間以上経ってしまいました。本日、某保護者OBの方に早く8日目を更新して欲しいとリクエストがありましたので書こうかと。皆様、申し訳ありませんでした。大変お待たせしました。

↑勿論これは私です 書いてくれないと仕上がりにせんから

10月4日(火) 国体最終日。私は前日からウキウキしていました。もう一度、福井選抜・愛媛選抜と勝負ができる。決着をつけたい!そして何より3年生部員の高校ボートのラストレースが国体最終日であったことが何より嬉しく思っていました。また、当日は息子夫婦と孫が横浜から応援に来てくれる事を楽しみにしていました。(孫に会えるのは正月以来)で、結果はクオドが決勝3位、ダブルが順位決で1位で第5位入賞。クオドについては、決勝レースでは500過ぎまで善戦しましたが、そこから福井・愛媛に徐々に離され3位でFinish。優勝は福井。福井にとって今夏のインハイのリベンジを果たした形になりました。うちが劣っていたというより、福井の勝利への執念が勝っていたと思われ。関西TEAMとしても全力を尽くした結果だっただけに悔いはなかったと思います。

やはり国体は、前述のとおりレベルが高いです。他県はその県でセレクトされたAll Starクルー。岡山県も岡山選抜とはいえ、中身はオール関西TEAM。単独チームで本当によく頑張ってくれました。(同時に国体6連覇をはじめ過去7回の単独チームでの優勝は凄い!と思いました)

また、国体は天皇杯順位(成年男女・少年男女)も争います。クォドが3位で30点、ダブルが5位で12点で合計42点Get。ボート競技における岡山県の実績は総合第12位。(岡山42点、全ての得点を少年男子、関西TEAMで稼いだことになります) 因みに少年男子だけにいたっては第2位でした。単独チームで本当によく頑張ってくれました。Good job! 感動をありがとう!

表彰式・マスコミインタビュー・片付け&積み込みが終わって会場を出発したのが午後13時過ぎ。そこからが地獄でした。早朝4時半から起きて、レース後の昼過ぎからの飲まず食わずの7時間ほどの運転。気が狂いそうでした。宿泊予定だった愛知県豊田市のビジネスホテルに着いたのが夜20時頃。ホテルにチェックインした後、夜の蝶?になってやろうと思いましたが、あまりにも疲れきっていたのでその元気もなく、泥のように眠ってしまいました。《おわり》

二週間経っても疲れは取れておりません。大学への書類等やる事が山積みだそうです。



《 あ と が き 》

皆様、最後までご拝読有難うございました。本年度はクォドルプルがインターハイ優勝を決めてくれて本当に嬉しい年となりました。これは関西ボート部に携わってきた皆様のご尽力の賜物かと思えます。

さて、ご存じの通り森川先生が本年度をもって定年とされます。退職されるかどうかは未だ分かりませんが、ラストイヤーだラストチルドレンだと騒いでおりました。思い起こせば平成19年度息子が関西高校を卒業した後、私の掲示板への投稿文が面白かったと言われ「息子の一年間を文章で残してみませんか？」の悪魔の囁きで『選抜の巻き』を思い出しながら、記録を探すためパンフレットをひっくり返しながら書いてみたのを先生にお見せしたのが、始まりでございました～～～・・・と思ひ出話で締め括ろうかと思っていたのですが・・・何だか辞めないんじゃないかとも思えてきてます。税金対策としても後一年は働いた方がよいとは思ひ、福田君も後任に成れるのはまだまだ先みたいだし、しんどいけどこんな楽しい充実の日々をそうそう簡単に手放せるのだろうか???

大明神様と呼ばれていた先生も私の頃には將軍様になり(黒と言われれば昨日は白だった物も黒になるから)、幸夫ちゃんと呼ぶ後輩保護者も見かけるようになりましたが、ここへきて大明神に復活しましたね。子供たちは陰では何と呼んでるのでしょうか。因みに息子たちは『あのおっさん』でした(笑)

『定年のお祝い』退職祝いじゃないし送別会でもないので、まだ続けると信じてます。とりあえず「2023 応援日記」も秋季大会から書き始めてます。困らない様にしておかないでね・・・。

私も森川先生と共に関西ボート部から消えていく所存です。それまでは最高のサポーター・最強のストーカーとして頑張ります。いつまで続くのやら・・・。

おっと、最後にもう一つ。3年生の今後の活躍と田川チームの活躍を祈念しております。
頑張ってね～

H19 卒 OB 保護者 紫香部